



公益財団法人
福島県文化振興財団

2022

5

May

ふくしま文化情報

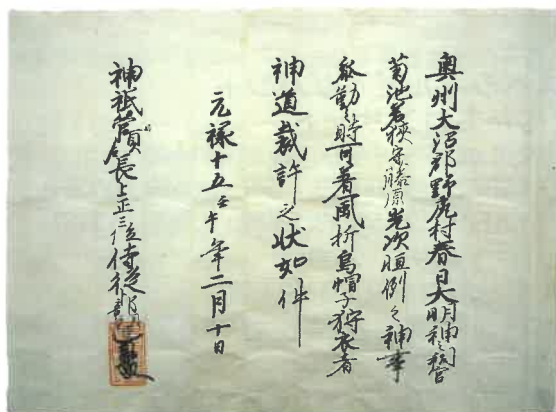
《とうほう・みんなの文化センターと県内のイベント情報を掲載》

収蔵資料展 只見線復旧応援 「奥会津の古文書—総集編—」



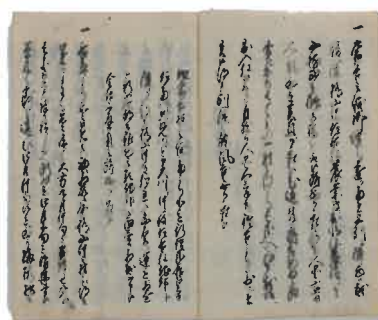
〔会津郡石伏村耕地絵図〕(矢沢三男家文書)

北を左下にした構図で描かれた石伏本村・端郷宮淵集落の耕作地絵図です。中央を北流するのが只見川で、赤色が道、黄色が畑、青色が田を示し、焼畑・麻畑の記載が見られます。貼紙は川欠(水損地)の記載で、北部分流箇所(水勢を抑えるための蛇籠)が描かれており、水害に悩まされた様子も窺えます。



神道裁許状
(菊地武彦家文書)

陸奥国大沼郡野尻村の春日大明神(昭和村野尻字上の山)祠官菊地光次は、神祇官領長上吉田兼敬より、神事参勤の際には風折烏帽子や狩衣の着用を許可されました。菊地氏の姓は藤原で、光次の官途は若狭守でした。



風俗帳
(馬場新家文書)

南会津町伊南地域・南郷地域、檜枝岐村、只見町、金山町の一部の風土・産業・方言・年中行事・冠婚葬祭をまとめた史料です。この地域では農業の合間に山稼ぎをする人や猟業を営む人がおり、謙った表現で人柄は無骨かつ実直であると述べています。

只見線の早期復旧を応援するため、 奥会津ゆかりの古文書をシリーズで取り上げてきた企画の総集編

平成23年(2011)7月の新潟・福島豪雨により、橋梁の流失や土砂崩れによる線路の崩壊など甚大な被害を受けたJR只見線。早期復旧を応援するため、平成29年度からこれまで、奥会津ゆかりの古文書を5回シリーズで取り上げてきました。

今回は、只見線が今秋の全線再開通を目指して整備が進められていることから、これまでの総集編として展示します。三島町・金山町・昭和村・只見町・南会津町南郷地域の代表的な古文書を紹介し、この地域の歴史と文化的な魅力を伝えます。

また、関連イベントとして、5月28日(土)に映画「ハーメルン」(4ページ参照)、8月5日(金)に記録映像「からむしのこえ」を上映します。

開催中～8/21(日)

収蔵資料展 只見線復旧応援
「奥会津の古文書—総集編—」

【会場】福島市・県歴史資料館

【時間】9:00～17:00

【休館日】4/25、5/9、5/16、6/13、6/27、7/4、7/25、8/8

【料金】無料

【問合せ】資料館(024)534-9193